

ボランティア・市民活動センター通信



最近、コンビニでも販売している焼き芋。サツマイモは中南米が原産で、日本へは約400年前に伝来し、薩摩から全国に広まりました。鹿児島が主要な産地の理由は、火山灰を含んだ土地が生育に適していることからです。



「きらめきパーティー2019」開催のお知らせ！

今年も「きらめきパーティー2019」を開催いたします。
当日は作業所などの模擬店やボランティア団体による舞台発表など楽しい催しを企画しています。

皆さま、ぜひ、お誘い合わせのうえ、お越しくださいませ。

【日 時】 令和元年11月9日（土）

午前10時～午後2時（開場9時50分）

【場 所】 大正区ふれあい福祉センター全館



※会場には駐車場がございませんので、お車でのご来場は
ご遠慮ください。

＜当日ご協力いただく登録ボランティア団体一覧＞

おやじカフェ（1階）地元ナビ.com（1階）滝本民謡会（2階）
ハッピーフレンズ（2階）オクラホマ（2階）馬庭会（2階）
てんとうむし（3階）傾聴ボランティアグループトライアングル（3階）
お抹茶サロン（3階）手話サークル芦舟（受付）
音訳ボランティアサークルじゅげむ（館内アナウンス・舞台司会）
個人ボランティアの皆様（順不同）



大正区ボランティア・市民活動センター

〒551-0013 大阪市大正区小林西1-14-3 ふれあい福祉センター内

TEL:6555-7575 FAX:6555-0687（担当:会田）

ボランティア・市民活動紹介

☆屋根のシート張り講習会

9月28日(土)、大正区ふれあい福祉センターにて、「屋根のシート張り講習会」を開催しました。講師のNPO法人レスキューアシストは、各地の被災地で災害ボランティア活動をしている団体で台風15号の被害があった千葉県でも活動を続けています。講義は、各地域での



活動報告や安全で長持ちするブルーシートの張り方について説明がありました。

「新茨木方式」と呼ばれるレスキューアシスト独自のブルーシートの張り方の紹介と、材料選びや手元での作業など、知識さえあれば誰にでも対応できるものもありました。なかでも「アシスト瓦」は、軽微な屋根の損壊なら簡単に補修でき、誰にでも作成可能なことから、全国から支援物資として被災地に届けられています。屋外に移動してからは、はしごの昇降の仕方やロープでの固定の仕方等、参加者に体験してもらいました。参加者は、建築会社勤務や過去に高所作業に従事されていた方、大学でクライミング部に所属されていた方など様々で、作業の仕方について積極的に質問されていました。今後、この活動が広く知られ、災害ボランティアに興味を持たれる方が増えてほしいと思います。

☆ZAKKACAFEつくも(〇〇さんかくラボ)

10月22日(火)、三軒家東の「ZAKKACAFEつくも」で、「おにぎりと豚汁を作って食べよう!」が開催されました。この催しは、学生を対象として自分たちでご飯をつくり、みんなで一緒に食べる催しとして「つくも」が企画しました。参加者は「〇〇さんかくラボ」のメンバーで、店主から、具材の切り方



や食材の知識などのアドバイスをもらい、メンバーは具材を包丁で切ったり、おにぎりの具を何を入れるかで盛り上がっていました。「つくも」は、「宿題カフェ」や「珈琲の楽しみ方講座」等、さまざまな居場所づくりの取り組みを進めており、子育て世代の方を中心として人気のあるお店です。大正区にこのような居心地の良いお店がもっと増えると良いですね。